

ディスプレイソリューション事業・オプティカルソリューション事業

ディスプレイソリューション(DIS)・オプティカルソリューション(OPT)事業は「ディスプレイ・光学部品業界にイノベティブなソリューションを提供し、デジタル社会に貢献する」ことをミッションとしています。2025年度は、DIS事業でLCD*1用配向膜・絶縁膜、モバイルOLED*2用材料の拡販が進み、OPT事業でもARTON®樹脂やスマートフォンカメラ用光学フィルタが着実に伸長しました。こうした製品群と幅広いラインアップに支えられた事業・顧客基盤を土台に、AIインターフェースとしてのディスプレイ市場の拡大や環境対応といった新たなニーズに応えていきます。LCDで培った強みを深化させながら、OLEDと光学フィルムを次の成長の柱へ育て、社会の変化を新たな価値創出につなげることで、持続的な成長を実現していきます。



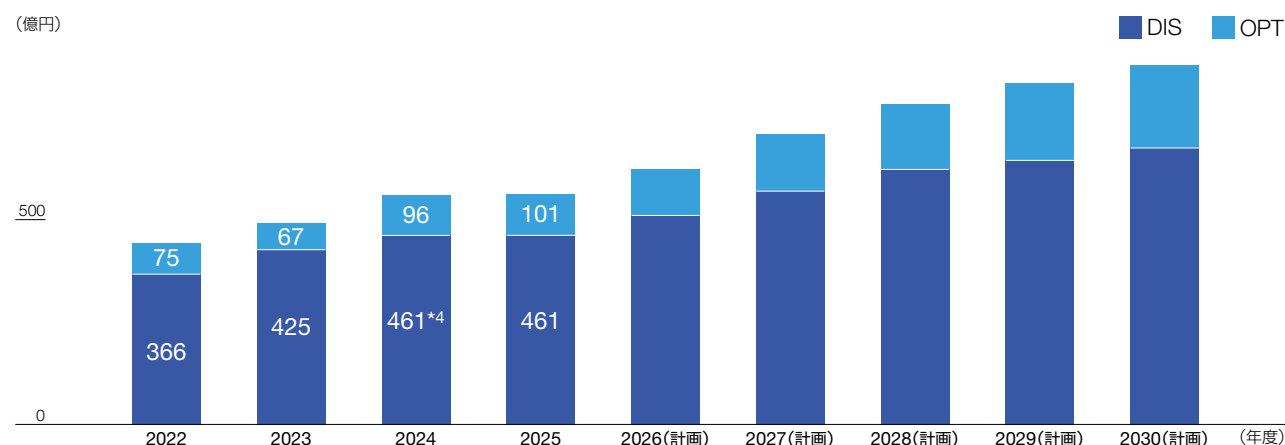
上席執行役員 脇山 恵介

昨年度の事業進捗／ハイライト

市場環境は2025年度を通じて概ね良好に推移しました。DIS事業ではLCD用配向膜・絶縁膜、モバイルOLED用材料のシェアアップが進展しました。OPT事業では、ARTON®樹脂需要の順調な拡大、光学フィルムでは、スマートフォンカメラ用途の拡販に加え、センサー用途のテーマ拡大も実現しました。DIS・OPT事業の合計売上は会社計画ベースで2026年度以降も成長を想定しています。

売上収益推移

(億円)



*1 LCD：Liquid Crystal Display。液晶ディスプレイ

*2 OLED：Organic Light-Emitting Diode。有機EL

*3 XR：VR(仮想現実)、AR(拡張現実)など現実と仮想を融合する技術の略称

*4 一過性収益を除外

マテリアリティ・中長期成長に向けた課題

ディスプレイ市場では、大画面化・高精細化、ゲーム・車載・パブリック・XR*3などアプリケーションの多様化、さらにAIインターフェースとしてのディスプレイ端末・空間増加と高機能化が進展します。技術の進化と継続的な市場拡大に応えることにより、中長期成長を実現していきます。また、環境負荷低減に貢献するソリューション提供や、材料技術革新を通じた地球環境保全、生活の質向上に取り組んでまいります。

対策と今期の具体的活動

中長期成長の実現に向けて、事業インフラと製品競争力の「両輪」を強化することで、顧客への迅速なソリューション提供の実現と先端分野での競争優位性を確保し続けます。事業インフラに関しては、ディスプレイ市場の中心である中国における四つの現地化の推進(事業HQ、営業、製造、技術サービス)に加え、研究開発・製造技術の要である四日市、および韓国・台湾・九州拠点の機能強化に継続的に取り組めます。製品競争力に関しては、ディスプレイ技術の進化に対応した材料性能の革新(高信頼性、高透過、高感度、低誘電、超高精細、光学特性向上など)に取り組むとともに、品質競争力の一層の強化を推進します。

2台に1台

日々製造される
ディスプレイパネルに
JSR材料を搭載

50%超

LCD主要3工程材料での
高シェア
(配向膜・絶縁膜・保護膜)

OLEDもNo.1

低温絶縁膜・光取り出し材料で
シェアNo.1、
さらにポートフォリオ拡大中

世界唯一

高性能な樹脂と
樹脂フィルム製フィルタの
量産供給

ディスプレイソリューション事業

業績ハイライト

- 2025年度は、主力の中国市場でLCD用配向膜・絶縁膜のシェアアップを実現
- OLED材料では低温絶縁膜のシェア拡大に加え、パネル構造の進化に対応した各種材料の顧客評価が進展
- 前期の一過性収益を除き、ディスプレイソリューション事業の営業利益は前期より増加

市場環境について*1

- ディスプレイ面積市場は年率4%程度の成長見込み。ディスプレイパネル生産地域は引き続き中国が中心。中国比率は2025年度74%→2030年度80%へ上昇する見通し
- デバイス別の面積成長率は、LCD:3%、OLED:7%(うちモバイル向けフレキシブルOLED:12%)。OLEDの高い成長が見込まれる一方で、構成比率はLCDが2025年度:92%→2030年度:90%と、面積ベースでは引き続きLCDがマジョリティ
- フレキシブルOLEDパネルについては、低消費電力化、スマートフォンのフォルダブル*2化やアンダーディスプレイカメラ導入、IT機種への搭載拡大などを背景に、パネル構造が進化。有機材料の多層化や機能付加といった事業機会が今後拡大

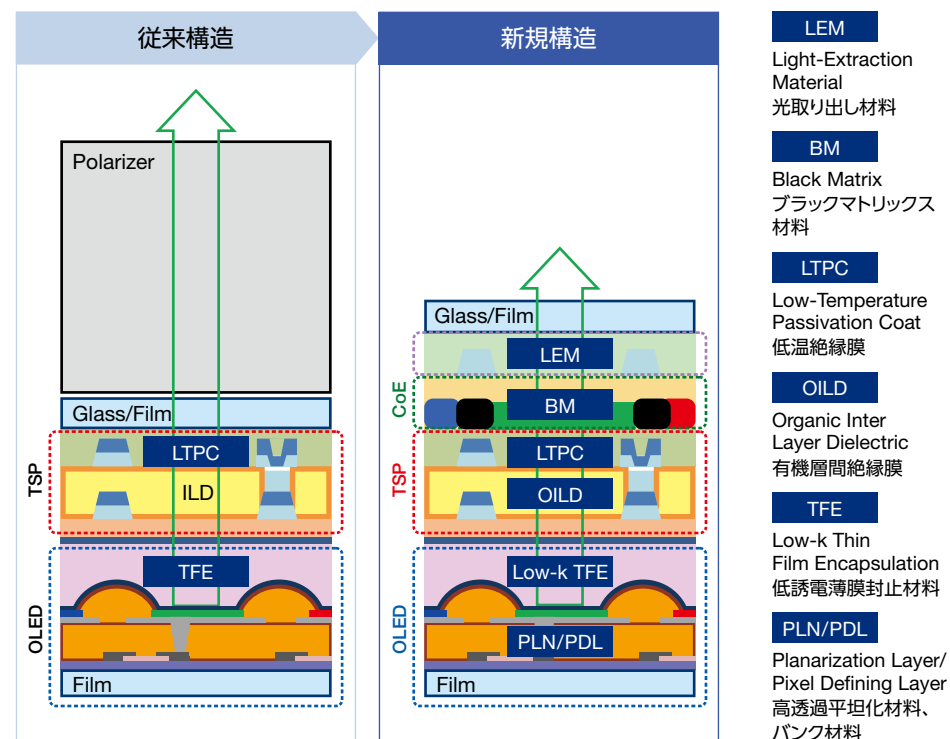
事業の強み

- LCD主要3工程(アレイ:絶縁膜・カラーフィルター:保護膜、セル:配向膜)の各材料で50%超の高シェア
- ディスプレイパネル市場の中心である中国での四つの現地化により顧客密着体制を構築。加えて研究開発・製造技術の要である四日市、および韓国・台湾・九州拠点の機能強化を推進
- 高度な材料設計・評価技術、プロセス提案力、圧倒的な品質競争力をコアに顧客への迅速なソリューション提案を実現
- LCDで培った強固な顧客基盤と事業インフラ、およびリソグラフィ・低温硬化などのコア技術をOLED材料に横展開しポートフォリオを拡大

中計目標と主な取り組み

- 事業ビジョン:ディスプレイ材料市場におけるリーディングカンパニーの地位を堅持
- LCD:配向膜・絶縁膜・保護膜の高シェア維持に加え、光IPS用配向膜へ本格参入
- エコフレンドリー提案を強化:省エネ対応材料、低温プロセス材料、PFASフリー*3材料、配向膜リサイクル事業
- OLED:No.1シェアの低温絶縁膜(LTPC)、光取り出し材料(LEM)に加え、低誘電薄膜封止材(Low-k TFE)、高透過平坦化膜・高透過バンク材料(PLN/PDL)、CoE*4用BMなどポートフォリオを拡大

OLEDパネル構造の進化



*1 ディスプレイ市場の成長率は2025年度～2030年度

*3 PFAS(フッ素化合物)非含有

*2 折りたたみ型

*4 CoE: Color Filter On Encapsulation

オプティカルソリューション事業

業績ハイライト

- 2025年度は、TV大画面化に伴う位相差フィルム向けARTON®樹脂需要拡大が継続
- スマートフォンカメラ用光学フィルターでは、より高機能な新規戦略製品の販売が順調に増加
- センシング用光学フィルターでは、既存のタブレット向け環境光センサー*1に加えて、スマートフォン用顔認証センサー、車載用センサーなど新たなアプリケーションでの顧客評価が進展
- 樹脂・光学フィルターの拡販進展に伴い収益性が大幅に改善

市場環境について

- TV大画面化に伴い、既存のTAC製位相差フィルム*2に対し、光学特性・耐吸湿性に優れるCOP製位相差フィルム*3の需要が拡大
- スマートフォンではカメラ高性能化・センサー大型化で樹脂フィルム製フィルターのニーズが拡大
- センシング用途では、スマートフォン用顔認証、車載用に加え、ウェアラブル、XR向けセンシングなどアプリケーションが拡大する見込み

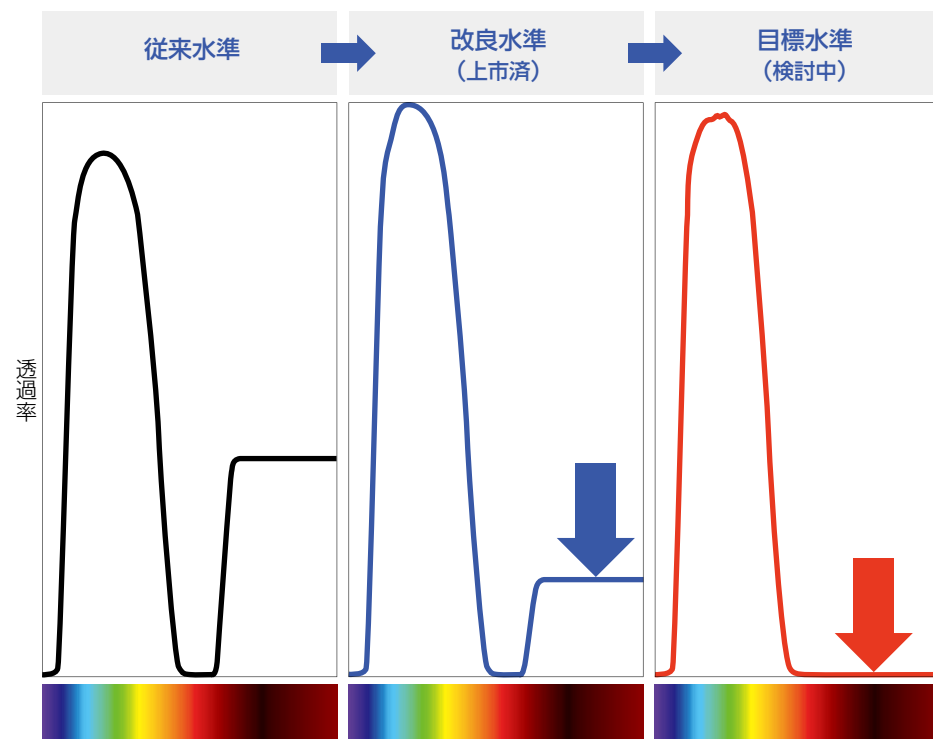
事業の強み

- ARTON®は位相差フィルム用途で拡大するCOP需要を取り込む中核樹脂
- 世界で唯一、高品質な樹脂フィルム製光学フィルターを量産供給できるメーカー。ガラス製フィルターと比較して、薄さ、軽さ、割れにくさ、しなやかさなどの優れた物性、および分光性能などの優れた光学特性が特徴。原材料から最終製品まで一貫したフィルム開発・加工技術を保有し、圧倒的なフィルム外観品質を実現
- ディスプレイソリューション事業で構築したパネルメーカーとの強固な関係を生かしたシナジー創出が可能

中計目標と主な取り組み

- 事業ビジョン：樹脂・フィルム開発・加工技術を中核に、光学部品市場でのゲームチェンジャーへ
- ARTON®樹脂：急増するCOP製位相差フィルム需要に対応するため生産能力を拡大し、最適な業界サプライチェーンの構築に寄与
- スマートフォンカメラ用光学フィルター：優れた物性と光学特性により、韓国・中国・米国の大手スマートフォンブランドでの採用拡大を推進
- センシング用光学フィルター：複数の顧客テーマを具体化し、事業の第三の柱へ育成

当社樹脂フィルム製フィルターの光学特性(スペクトル)イメージ



*1 デバイスの周囲の明るさを検知する電子部品

*2 植物由来の「TAC(トリアセチルセルロース)」を使用した、透明性、光学的な均一性、耐熱性に優れた樹脂フィルム

*3 石油由来のCOP(シクロオレフィンポリマー)を使用した、吸水性が低く透明度・強度の高い樹脂フィルム